



クリナップ®

クリナップ®

キッチンから、笑顔をつくろう

TAKAKO'S
Kitchen
わたしのいちばん。
My place. My STEDIA

STEDIA
ステディア

クリナップ®株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6-22-22



株主の皆さまへ
第68期 第2四半期
報告書

2020年4月1日から 2020年9月30日まで

証券コード 7955

株主の皆さまへ

舵取りの難しい時代だからこそ、意識を変え行動を変えていくことで、新たな未来を切り拓いてまいります。



代表取締役会長
井上 強一



代表取締役
社長執行役員
竹内 宏

■ 企業理念

家族の笑顔を創ります

■ 行動理念

私たちは、心豊かな食・住文化を創ります

私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます

私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります

■ ビジョン

暮らし価値創造企業
「Cleanup」への変革

私たちCleanupは、「キッチンの専門家」として、キッチン、ダイニング、リビング、サンタリー空間に「新たな暮らし価値」を創造・提案することで世界中のお客様に「感動」をお届けし、いつまでも選ばれ続ける企業を目指します。

2018中期経営計画(2018-2020)の概要

■ コミットメントと骨子

創業70周年、そしてその先へ

私たちCleanupは、事業の「変革と創造」に挑戦します。

構造改革

1 中高級市場での競争力強化

2 収益構造の変革

成長戦略

3 海外事業の拡大

4 新規事業の推進

基盤強化

5 技術力強化

6 ブランドづくり

7 人づくり

コロナ禍の影響から減収減益を余儀なくされたものの、堅実な利益確保を目指し、邁進してまいります。

当期(2021年3月期)は、コロナ禍の影響から期初の段階では業績を見通すことが困難な異例の立上りとなりました。住宅設備機器業界は、さらに消費税後の反動減も加わるなど、厳しい市場環境が続きました。ただ、Withコロナの時代に対応した“新しい生活様式”が急速に普及することで、市場の落ち込みは想定よりも小幅なものにとどまりました。

こうした中、当第2四半期連結累計期間の連結業績については、前年同期比では売上高が13.0%減、営業利益が96.2%減と、コロナ禍による減収減益は免れませんでした。2020年8月6日公表の業績予想に対しては、売上高・利益ともに上振れすることができました。その要因として、第1四半期に急激に落ち込んだ売上高は、第2四半期以降、日本をはじめ世界各国における経済活動の再開等を背景に、段階的に回復傾向を示してきたものと分析し

ております。また、利益面については、売上高が予想を上回ったことに加え、営業政策の見直しや投資抑制によるコスト削減を推進したことから販管費が減少し、予想数値を上回ることができました。

市場環境は今後も引き続き厳しい状況が予想されます。新設住宅着工戸数の推移を見ると、上半期(4-9月)は前年同期比11.3%減と落ち込みを示しております。下半期は多少の持ち直しが期待されるものの、通期ベースで前期比6.6%減と、2期連続の減少予想となっております。

そうした環境を背景に、通期の連結業績見通しについては、減収減益予想となっておりますが、売上高1,030億円、営業利益7億円、経常利益8億円、親会社株主に帰属する当期純利益4億円と、堅実な利益確保に向け、全社一丸となった取り組みを推し進めてまいります。

中期経営計画最終年度の取り組みを推し進め、事業の「変革と創造」に挑戦し続けてまいります。

先行きが極めて不透明で、舵取りが非常に難しい経営環境となっておりますが、中長期的な視点に立った経営を続けていくことが肝要であると認識しております。

中期経営計画「18中計(2018-2020)」は最終年度を迎えております。事業の「変革と創造」に挑戦する取り組みを、引き続き私たちのコミットメントとして推し進めてまいります。最重要テーマである「構造改革」については、「中高級市場での競争力強化」と「収益構造の変革」に取り組んでおり、特に前者については、システムキッチンの主力2ブランド「CENTRO」と「STEDIA」の更なる強化を図っております。中でも、中高級クラスの肝となる「STEDIA」については、“No.1ブランド”への成長を目指し、常にリニューアルによる魅力アップに努めております(詳細はP5-6参照)。また、販売体制については、お客様と

の重要な接点であるショールームを継続的に移転・リニューアルし、魅力アップを図っております。

さらに、withコロナの中での“新しい生活様式”に対応したマーケティング施策として、デジタルコンテンツを活用して来店につなげる新たな取り組みを行い、成約率アップも果たしております(詳細はP3-4参照)。

私たちクリナップは、引き続き「意識が変われば行動が変わる、行動が変われば結果が変わる。」という信条のもと、事業の「変革と創造」により、厳しい現状を打破し新たな未来を切り拓いてまいります。

株主の皆さまには、引き続きクリナップの経営にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



特集：“新しい生活様式”に対応したマーケティング施策

デジタルコンテンツを活用して来店につなげるバーチャルtoリアルを展開

新たなマーケティング施策展開により、ショールームにおける成約率アップへ

アテンション



テレビCM(BS)
商品訴求CMを展開

インタレスト&サーチ

- 1 オンラインショールーム
- &
- 2 Webセミナー

アクション

- 3 ショールーム

インタレスト&サーチ

1 オンラインショールーム ONLINE SHOWROOM

ショールーム見学が疑似体験できる
新たなWebコンテンツ



クリナップのものづくりの理念や商品特長、ユーザーボイスなどの幅広い情報コンテンツを配した
「エントランス」



主な特徴

- 1 クリナップホームページから、登録なしで誰でもアクセス
- 2 全体像がひと目で把握できる箱庭型ショールーム
- 3 パソコンでもスマートホンでも分かりやすい、直感的な操作性、閲覧性

インタレスト&サーチ

2 Webセミナー

おうち時間や家事シェアをテーマにした
家づくりセミナーをオンライン開催

9/26
開催

- おうち時間を快適に過ごすアイデア満載のセミナー
- Zoomによるオンラインセミナー
- 4つのセミナーを配信

1 10:00~10:45

家事はシェアする!
夫婦のための収納
アイデアグッズご紹介

2 11:15~12:00

在宅ワークも快適♪
夫婦円満になる
LDKのレイアウト



3 14:00~14:45

今時キッチン
「静か&楽ちん」!
最新アイテム徹底解説

4 15:15~16:00

暮らしが変わった!
リフォーム
ビフォーアフター事例

アクション

3 ショールーム

ショールーム予約来場者促進に向けた、
新たな施策を展開

9/1~
12/25

“おうち時間”を見つめ直す!
をコンセプトにおうちがさらに
楽しくなるイベントを開催



ショールームにおける主な新型コロナウイルス感染症予防対策

- マスク着用 ● アルコール消毒・手洗い ● 入館時の検温
- 事前予約制を促進
- 密を避けてのご案内を基準に運営 など

ショールームのご予約は当社Webサイトより▶



主なトピックス

中高級商品関連

STEDIA

多様化するインテリアテイストに対応 「わたしらしさ」を表現できるキッチンへ

STEDIA

ステディア

今年度も引き続き、主力の中高級価格帯システムキッチン、「STEDIA(ステディア)」の販売強化に努める中、多様化するインテリアテイストに対応するため、デザイン性を強化し、また、人気のレイアウトをベースにスタイリッシュなデザインをお求めやすい価格でご提案できる「スタイリッシュプラン」を新設定し、リニューアルを行いました。

「わたしらしさ」を表現できるキッチンとして、さらに幅広いインテリアテイストに対応



主なリニューアル
ポイント

- 意匠の要となる扉面材と取手のバリエーション強化
- 人気の「フラット対面プラン」にステンレスワークトップが新登場
- 限られたスペースにも対応する「奥行60cmタイプ」を追加



スタイリッシュなデザインを
お求めやすい価格でご提案できる
「スタイリッシュプラン」を新設定

デザインを重視しつつ、
人気のレイアウトと
アイテムを絞り込んだ
コストバランスの良いプラン

主な仕様

- 清潔で丈夫な「ステンレス製キャビネット」
- 大容量で自由自在の収納が可能なシンプル引き出し
- 調理や洗いで出るゴミを水流が集めて流す「流レールシンク」
- デザインもお手入れもシンプルな「シンプルスリムレンジフード」
- お手入れ簡単で人気の「ガラストップコンロ」

賃貸向け商品関連

colty

最新のインテリアトレンドを意識 デザイン性が向上

コンパクト
colty
コルティ

近年の賃貸住宅市場では、供給過剰による空室対策として、空間の雰囲気や住宅設備を一新し、物件の価値を高める「リフォーム」需要が高まっています。

このような市場の動きに対応していくため、マンション、アパートなどの賃貸物件や戸建て住宅等の新築・リフォームに広く対応するコンパクトキッチン「コルティ」は、デザイン、商品バリエーション、取付・設置など、さまざまな面でリフォーム対応力を高め、大幅なリニューアルを行いました。



魅力あるデザイン

インテリアトレンドを反映した扉カラーや取手、周辺収納で、生活をイメージしやすく仕立てる「ホームステージング」を意識し、高いデザイン性を実現

フラット対面が登場

フラット対面レイアウトでリビングとキッチンをつなぐことで、気持ちのいい開放感と広々とした余裕をプラス

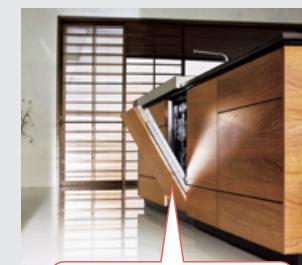
2タイプの奥行設定

物件の広さに応じて、2タイプ(97cm/75cm)の奥行から選択可能

CENTRO
STEDIA

ドイツ高級ブランド食洗機「Miele」 対応範囲を拡大

システムキッチン「CENTRO」、「STEDIA」シリーズにて、ドイツのプレミアムブランド「Miele」の食器洗い機の対応範囲を高さ90cmのキッチンまで拡大し、9月1日から受注開始しました。



高さ90cmの
キッチンへの対応が可能



間口45cmタイプ
を追加採用

「Miele」の
主な特徴

- 富裕層の圧倒的支持を集めるプレミアムブランド
- 大容量で高い洗浄能力

CSR関連

海外
展示会

ベトナム最大級の建築系展示会 「VIETBUILD 2020」に初出展

ベトナムでの認知向上と販売強化を目的に、現地販売店NHAVUI(ニャブイ)社とタイアップし、「VIETBUILD(ベトビルド)2020」に初出展しました。

熱や湿気、カビに強い「ステンレスキャビネット」は高温多湿なベトナムでも関心が高く、今回の展示ブースでも、「ステンレスキャビネット」や「クラフツマンデッキシンク」に注目が集まり、日本の技術力に驚きの声が多く聞かれました。



NHAVUI社専用ブース
「CENTRO」と「STEDIA」をそれぞれ2セットずつ展示

会期:2020年6月24日~28日/集客:約30万人

公益財団法人
クリナップ財団

2020年度より、対象者の増員と奨学金の増額を実施 奨学生への支援内容を強化

2013年度より開始した奨学支援事業は、震災復興支援に有用な人材育成を目指したもので、今年で8回目となり、奨学生は累計310名となりました。

今年度からは、対象者を10名増員し、継続受給者7名を含めた50名とし、また、奨学金も一人当たり毎月20,000円から25,000円に増額し、より一層の支援を行ってまいります。

対象者

10名増員

50名
(継続受給者7名含む)

奨学金

5,000円増額

25,000円
(一人当たり)

連結ハイライト情報／連結部門別情報

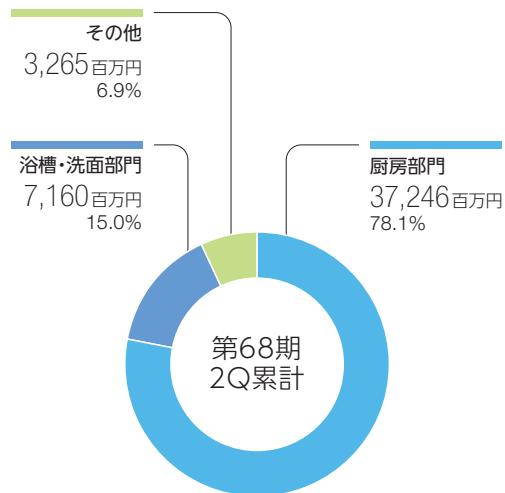
■ 連結財務ハイライト

(百万円)

	第67期2Q累計 2020年3月期2Q累計	第67期 2020年3月期	第68期2Q累計 2021年3月期2Q累計
売上高	54,778	107,525	47,672
営業利益	2,224	2,499	85
経常利益	2,256	2,545	171
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は純損失(△)	1,572	1,465	△ 142
総資産	83,941	80,106	81,063
純資産	51,892	50,898	50,714

■ 部門別売上高(連結)

(百万円)



	第67期2Q累計 2020年3月期2Q累計	第67期 2020年3月期	第68期2Q累計 2021年3月期2Q累計
厨房部門	42,690	84,302	37,246
浴槽・洗面部門	8,567	15,973	7,160
その他	3,521	7,250	3,265
合計	54,778	107,525	47,672

厨房部門の主な商品

高級品クラスのシステムキッチン「CENTRO(セントロ)」、中・高級品クラスの「STEDIA(ステディア)」、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されています。

浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「ユアシス」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されています。

第68期第2四半期連結累計期間の営業概況

市場環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により制限されていた経済活動の再開に伴い緩やかな回復をみせているものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。住宅設備機器業界におきましては、消費税増税後の

反動減に加え新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり引き続き厳しい市場環境ではあったものの、「新しい生活様式」の普及もあり、想定より小幅な落ち込みにとどまりました。

業績・成果

このような中、当社グループは、2020年9月にリニューアルしたシステムキッチン「STEDIA(ステディア)」や2020年6月にリニューアルしたコンパクトキッチン「コレティ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点である全国102か所のショールームにおいて、感染防止対策を綿密に講じつつ、お客様の事前来場予約を促進し、安心・安全に最新の商品を体感できるようにしております。さらに、ショールーム見学が疑似体験できる新たなWEBコンテンツ「オンラインショールーム」の準備を進めてまいりました。

また、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店

等の流通パートナーと連携して『イエナカ充実フェア』等の各種イベントを開催し、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、東西の生産拠点での生産性向上、VE活動(*)を推進し、原価低減に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比13.0%減の476億72百万円となりました。利益面では営業利益は同96.2%減の85百万円、経常利益は同92.4%減の1億71百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億42百万円(前年同期は15億72百万円の純利益)となりました。

※VE活動: VE(Value Engineering)は、商品・サービスの期待される機能・価格を最低コストで確実に達成するための技術であり、VE活動は生産の現場におけるVE実現に向けた取り組み。

第68期第2四半期連結累計期間の部門別の状況

部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「CENTRO(セントロ)」は数量、金額とも減、「STEDIA(ステディア)」は数量、金額とも減、「ラクエラ」は数量、金額とも減となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比12.8%減の372億46百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「ユアシス」は数量、金額とも減、洗面化粧台においては数量増、金額減となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比16.4%減の71億60百万円となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の要旨

(百万円)

流動資産 流動資産は前期末比11億93百万円増加し、501億3百万円となりました。これは主に電子記録債権が5億32百万円、受取手形及び売掛金が3億98百万円減少した一方、現金及び預金が16億2百万円、商品及び製品が4億98百万円増加したこと等によります。

固定資産 固定資産は前期末比2億36百万円減少し、309億60百万円となりました。これは主に投資その他の資産が3億23百万円増加した一方、有形固定資産が4億16百万円、無形固定資産が1億43百万円減少したことによります。

資産合計 総資産は前期末比9億56百万円増加し、810億63百万円となりました。

	第67期2Q 2019年9月30日現在	第68期2Q 2020年9月30日現在	第67期 2020年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	51,894	50,103	48,909
現金及び預金	18,992	21,164	19,561
受取手形及び売掛金	15,951	13,145	13,543
電子記録債権	11,514	10,567	11,100
その他	5,437	5,226	4,704
固定資産	32,046	30,960	31,197
有形固定資産	21,278	20,208	20,625
建物及び構築物	8,146	7,799	7,970
その他	13,131	12,409	12,655
無形固定資産	2,684	2,641	2,785
投資その他の資産	8,084	8,109	7,786
投資有価証券	5,098	5,439	4,898
その他	3,117	2,788	3,007
貸倒引当金	△ 131	△ 118	△ 119
資産合計	83,941	81,063	80,106

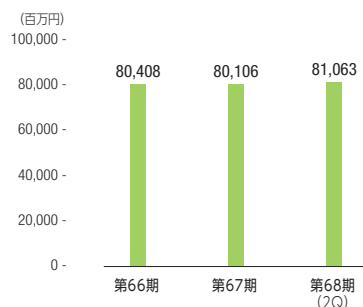
	第67期2Q 2019年9月30日現在	第68期2Q 2020年9月30日現在	第67期 2020年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	26,291	22,457	23,784
買掛金	7,028	6,087	5,868
電子記録債務	7,096	5,913	6,642
短期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)	3,998	3,393	3,683
その他	8,168	7,063	7,590
固定負債	5,757	7,891	5,423
長期借入金	1,532	3,460	695
退職給付に係る負債	117	494	709
役員退職慰労引当金	416	416	416
その他	3,691	3,519	3,602
負債合計	32,048	30,348	29,208
(純資産の部)			
株主資本	49,975	49,249	49,760
資本金	13,267	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351	12,351
利益剰余金	25,037	24,049	24,561
自己株式	△ 680	△ 419	△ 419
その他の包括利益累計額	1,916	1,465	1,137
その他有価証券評価差額金	1,477	1,712	1,322
為替換算調整勘定	△ 17	△ 41	△ 21
退職給付に係る調整累計額	456	△ 205	△ 164
純資産合計	51,892	50,714	50,898
負債純資産合計	83,941	81,063	80,106

流動負債 流動負債は前期末比13億26百万円減少し、224億57百万円となりました。これは主に短期借入金が2億90百万円、電子記録債務が7億28百万円、未払法人税等が2億18百万円減少したこと等によります。

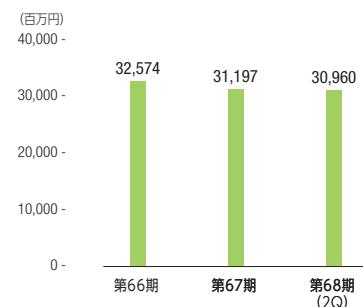
固定負債 固定負債は前期末比24億67百万円増加し、78億91百万円となりました。これは主に長期借入金が27億64百万円増加したこと等によります。

純資産合計 純資産合計は前期末比1億83百万円減少し、507億14百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失1億42百万円、配当金の支払い3億68百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億90百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前期末の63.5%から62.6%になりました。

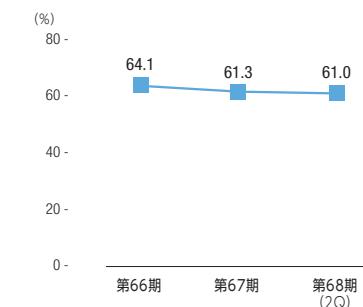
■ 資産合計



■ 固定資産



■ 固定比率

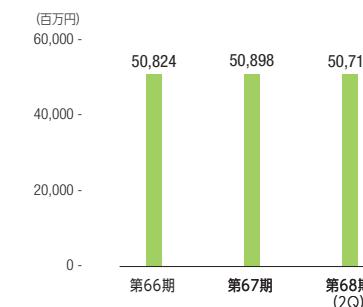


■ 有利子負債

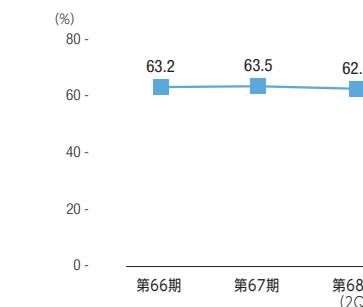


※有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計。

■ 純資産合計



■ 自己資本比率



連結財務諸表

売上高 消費税増税後の反動減に加え新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、厨房部門、浴槽・洗面部門ともに数量、金額が減となり、売上高は前年同期比13.0%減の476億72百万円となりました。

売上原価 VE活動の推進など、原価低減に努めましたが、機種構成差などにより売上原価率が前年同期比1.6ポイント上昇し66.3%となりました。

販管費 新商品の開発や販売体制の強化、拡販活動等を積極的に行った一方で、経費節減や生産性の向上等に努めた結果、販管費は前年同期比11億34百万円減少しました。また、販管費率は同2.3ポイント上昇し33.5%となりました。

営業利益 減収の影響から、営業利益は前年同期比96.2%減の85百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失 親会社株主に帰属する四半期純損失は1億42百万円(前年同期は15億72百万円の純利益)となりました。

■ 連結損益計算書及び連結包括利益計算書の要旨 (百万円)

	第67期2Q累計	第68期2Q累計	第67期
	2019年4月 1日～ 2019年9月30日	2020年4月 1日～ 2020年9月30日	2019年4月 1日～ 2020年3月31日
(連結損益計算書)			
売上高	54,778	47,672	107,525
売上原価	35,462	31,630	70,850
売上総利益	19,315	16,041	36,675
販売費及び一般管理費	17,091	15,956	34,175
営業利益	2,224	85	2,499
営業外収益	282	290	552
営業外費用	250	204	506
経常利益	2,256	171	2,545
特別利益	0	130	67
特別損失	108	296	362
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,148	5	2,250
法人税等	576	148	785
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	1,572	△ 142	1,465
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,572	△ 142	1,465
(連結包括利益計算書)			
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	1,572	△ 142	1,465
その他の包括利益	△ 135	328	△ 915
四半期包括利益(包括利益)	1,436	185	550

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (百万円)

	第67期2Q累計	第68期2Q累計	第67期
	2019年4月 1日～ 2019年9月30日	2020年4月 1日～ 2020年9月30日	2019年4月 1日～ 2020年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,762	316	6,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,192	△ 719	△ 2,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 240	2,022	△ 1,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 18	△ 16	△ 20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,310	1,602	2,879
現金及び現金同等物の期首残高	17,182	20,061	17,182
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	19,492	21,664	20,061

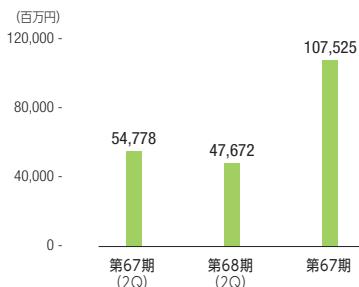
営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果得られた資金は3億16百万円(前年同期比91.6%減)となりました。これは、減価償却費が15億58百万円、売上債権の減少11億56百万円、雇用調整助成金の受取額1億25百万円があった一方、仕入債務の減少5億99百万円、たな卸資産の増加6億64百万円、新型コロナウイルス感染症による損失の支払額2億58百万円、法人税等の支払額3億57百万円があったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果使用した資金は7億19百万円(前年同期比39.7%減)となりました。これは生産設備の改修、ショールーム移転・改装等により有形固定資産の取得による支出が3億82百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が3億33百万円あったこと等によるものです。

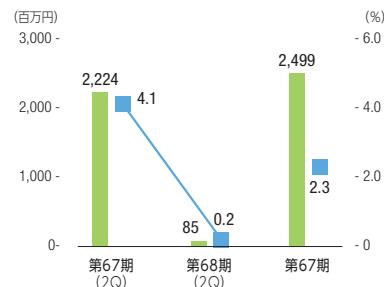
財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果得られた資金は20億22百万円(前年同期は2億40百万円の使用)となりました。これは短期借入金の純減が20億円、長期借入金の返済による支出が15億26百万円、配当金の支払が3億68百万円あった一方、長期借入れによる収入60億円があったこと等によるものです。

現金及び現金同等物の四半期末残高
現金及び現金同等物の四半期末残高は前期末比16億2百万円増加し、216億64百万円となりました。

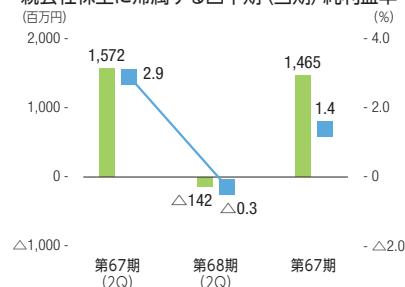
■ 売上高



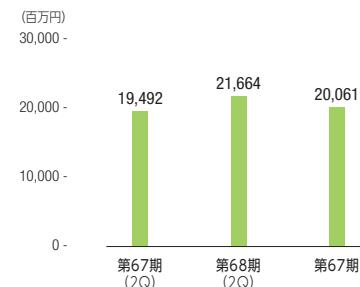
■ 営業利益・営業利益率



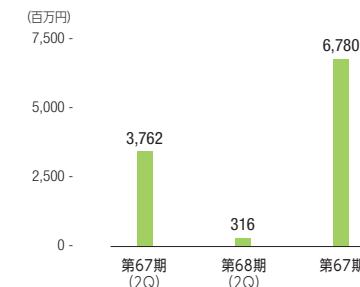
■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益・親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益率



■ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



■ 投資活動によるキャッシュ・フロー



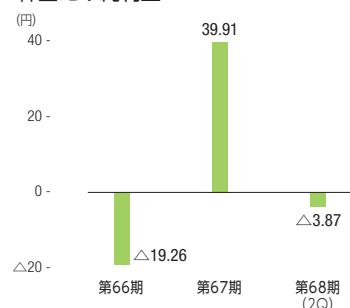
株式関連情報 (2020年9月30日現在)

■ 剰余金の配当について

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つとして考えており、配当につきましては、収益の状況および将来の事業展開を勘案し安定的な配当の継続を基本として、決定しております。

以上の方針に基づき、中間配当金は、1株当たり10円とさせていただきます。また、当期の年間配当金は、中間配当を含め1株当たり20円を予定しております。

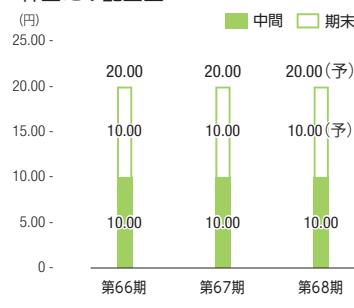
■ 1株当たり純利益



■ 1株当たり純資産

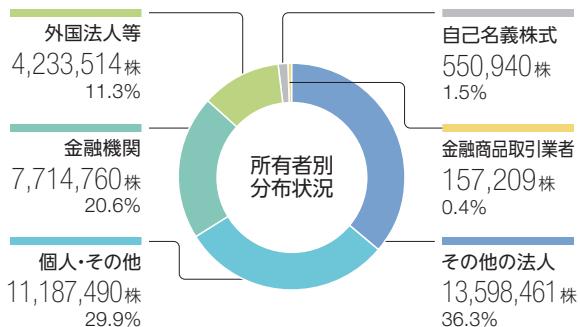


■ 1株当たり配当金



■ 株式の状況

発行可能株式総数	130,000,000 株
発行済株式総数	37,442,374 株
株主数	6,858 名



■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社井上	8,609	23.3
クリナップ真栄会	2,112	5.7
クリナップ共進会	1,899	5.1
株式会社タカヤス	1,829	4.9
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,780	4.8
クリナップ社員持株会	1,650	4.4
日本カストディ銀行株式会社(信託口)	1,019	2.7
株式会社三菱UFJ銀行	757	2.0
三菱UFJ信託銀行株式会社	693	1.8
株式会社ミツウロコグループホールディングス	597	1.6

(注) 持株比率は、自己株式(550,940株)を控除して計算しております。

会社情報 (2020年9月30日現在) / 株主メモ

■ 会社概要

商号	クリナップ株式会社 Cleanup Corporation
本社所在地	〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
電話番号	03-3894-4771(大代表)
創業	1949年10月5日
会社設立	1954年10月5日
上場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 7955)
資本金	132億6,734万円
主要営業品目	厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他
社員数	連結: 3,474名 / 単体: 2,923名
主な事業所	支社: 国内4か所 支店: 国内1か所 営業所: 国内128か所(出張所含む) 海外: 香港、台湾、上海 工場: 四倉、鹿島システム、湯本、クレート、鹿島(いずれも福島県いわき市) 岡山(岡山県勝田郡勝央町) 津山(岡山県津山市)

■ 役員

代表取締役会長	井上 強一	取締役	川崎 享*
代表取締役社長執行役員	竹内 宏	取締役	千代田有子*
取締役副社長執行役員	小島 輝夫	常勤監査役	山根 康正
取締役専務執行役員	山田 雅二	常勤監査役	島崎 憲夫
取締役専務執行役員	大竹 重雄	監査役	新谷 謙一*
取締役専務執行役員	川田 和弘	監査役	高品 彰*
取締役専務執行役員	井上 泰延		

*は社外

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
電子公告掲載 URL <https://cleanup.jp/>

単元株式数 100株

【株式に関するお手続きについて】

■ 証券会社等の口座に記録された株式

株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せください。

■ 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。

■ 未受領の配当金

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。

【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】

三菱UFJ信託銀行株式会社

【同連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話: 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先: 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部